

野川公園 秋の日まつり

武蔵野の秋をのんびり楽しむ「秋の日まつり」を行います。雑木林の紅葉が美しい季節にレンジャーと一緒に秋の生きものを探そうガイドウォークや自然を楽しむワークショップを開催。秋空の下、生演奏を聞きながらゆっくり過ごせるカフェもオープン。秋の一日を満喫してください。

- 開催日時 平成28年11月26日(土) 11:00~15:00※雨天中止
- 場所 都立野川公園梅林(売店北側)
- ★料金 パークカフェ・ワークショップ:有料



問い合わせ先

都立野川公園サービスセンター
(西武・武蔵野パートナーズ)
TEL:0422-31-6457
HP: http://musashinoparks.com/



土木技術を体験してみませんか ～一般公開を実施します～

東京都土木技術支援・人材育成センターは、前身の土木技術研究所が蓄積した技術情報やノウハウを基に事業現場への「技術支援」を行うとともに、職員の技術力の維持向上・技術継承を目的とした「人材育成」業務を行っています。センターでは、皆様に土木技術への理解を深めてもらうことを目的に4月と11月の年2回、施設の一般公開を実施しています。「土木の日」にちなんで11月の施設公開は下記の日程で実施しますのでぜひお越しください。

- 開催日時 平成28年11月16日(水) 13時~16時30分
- 内容 「レナガで橋を作ろう(アーチ橋の原理実験)」
- (一部) 「東京の地盤(地質図、地質断面図の展示)」
- 「東京の液状化予測図の展示」
- 「環境にやさしい舗装(ヒートアイランド対策)」
- 詳細はHPをご覧ください。



http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jigyo/tech/start/index.html

問い合わせ先

土木技術支援・人材育成センター
技術支援課
TEL:03-5683-1512



満喫しよう!秋の小石川後楽園

小石川後楽園では、文化の日に『秋の一日を楽しむ』、また、イロハモミジの紅葉に合わせて『深山紅葉を楽しむ』を開催します。イベント期間中は、ワラボッチの輪挿し作りやお茶会、伝統芸能公演などを楽しみいただけます。催しと共に、日ごと深まる紅葉の錦をお楽しみください。

秋の一日を楽しむ

- 開催日時 平成28年11月3日(木・祝)
- 内容 ①ワラボッチの輪挿し作り ②野点



深山紅葉を楽しむ

- 開催日時 平成28年11月19日(土)~12月4日(日)
- 内容 ①江戸糸あやつり人形 11月20日(日)
- ②石州流茶会 11月27日(日)
- ③伝統技能見学会「雪吊り」 12月3日(土)
- ④江戸太神楽 12月4日(日)
- ※イベント詳細は、HPまたはお電話にて

★交通 都営地下鉄大江戸線「飯田橋」駅下車徒歩3分、JR・東京メトロ「飯田橋」駅下車徒歩8分、JR「水道橋」駅下車徒歩8分、東京メトロ「後楽園」駅下車徒歩8分

問い合わせ先

小石川後楽園サービスセンター
TEL:03-3811-3015
HP: https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index030.html

錦秋染まる旧古河庭園

旧古河庭園では、紅葉の季節に合わせて「錦秋染まる旧古河庭園」を開催いたします。イベント期間中は、琵琶や津軽三味線のコンサートをお楽しみいただけます。旧古河庭園の魅力ある秋景色と日本の伝統文化の共演をぜひご覧ください。

皆様のご来園をお待ちしております。

- 開催期間 平成28年11月19日(土)~12月4日(日)
- 内容 ①秋を彩る演奏会・琵琶 11月26日(土)
- ②秋を彩る演奏会・津軽三味線 12月3日(土)
- ※①②ともに1日2公演 12時~15時~
- ③伝統技能見学会 12月4日(日)10時~、13時~



★交通 JR京浜東北線「上中里」駅、東京メトロ南北線「西ヶ原」駅下車徒歩7分、JR山手線「駒込」駅下車徒歩12分

問い合わせ先

旧古河庭園サービスセンター
TEL:03-3910-0394

都立公園の無料Wi-Fiサービス拡大

東京都立公園では、外国人旅行者及び公園利用者の利便性向上を目的に、無料Wi-Fiサービス(「FREE Wi-Fi & TOKYO」)の導入を進めています。このたび、新たに18箇所での利用が可能となりましたので、お知らせいたします。

(1) サービスの概要

- 利用開始日 平成28年9月1日(木)から
- SSID FREE_Wi-Fi_and_TOKYO
- 利用方法 メールアドレス又はSNSアカウントの登録
- 対応言語 日本語、英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語

(2) サービスを開始する公園

下記18公園のサービスセンター
東白鬚公園、木場公園、砧公園、駒沢オリンピック公園、善福寺川緑地(和田堀公園)、汐入公園、城北中央公園、光が丘公園、舎人公園、水元公園、篠崎公園、武蔵野中央公園、府中の森公園、神代植物公園、小金井公園、東村山中央公園、東大和南公園、秋留台公園

(3) その他

有料庭園、動物園、上野恩賜公園、代々木公園、日比谷公園などでもすでにご利用いただけます。サービスの詳細やその他利用可能な場所については、「FREE Wi-Fi & TOKYO」のHPをご覧ください。
http://www.wifi-tokyo.jp/ja/

問い合わせ先

公園緑地部公園課 TEL03-5320-5377



イキモノのイキな話 96



上野動物園初のアジアゾウ妊娠

恩賜上野動物園 三塚 修平

現在、上野動物園には4頭のアジアゾウがいます。オスのアティ(19歳)と、メスのダヤー(39歳)、スーリヤ(22歳)、ウタイ(18歳)です。野生では、アジアゾウはメスを中心とした家族で群れをつくり、オスは10歳程度になると単独でくらすようになります。そのため当園でも、オスとメスを別々の運動場で飼育しています。

アジアゾウの繁殖行動ですが、普段は単独生活のオスが、3~4ヵ月に一度やってくるメスの発情期に合わせて、群れに近づき交尾をおこないます。当園ではメスが発情期に入るとオスの運動場に連れていき、交尾のための同居をおこなう方法で繁殖をめざしてきました。アティと年齢の近いスーリヤとウタイを対象に、10年ほど前からこのような同居を実施してきました。同居をおこなうためには、メスに発情期がいつ来るのかわかっていなければいけません。アジアゾウは外見や行動の変化で発情を見分けることが難しいため、週1回、採血をおこなって血液中の性ホルモンを測定することで、発情期を予測しています。予測した時期に合わせて同居をおこなってきましたが、オスが経験不足であること、またメスが嫌がって逃げる行動をとることなどにより、これまでなかなか交尾に至らない状況が続いていました。しかし、徐々にアティは肉体的にも精神的にも成長していき、特にウタイとの同居時にうまく交尾姿勢をとることができるようになっていきました。

そして2015年10月の同居の後、ウタイが妊娠していることがわかったのです。上野動物園では、アジアゾウの妊娠は初めてのことで、妊娠期間は約20~22ヵ月なので、早ければ来年の6月頃には出産を迎えます。期待も不安もありますが、まずは母子ともに健康に産を迎えられるよう、万全の準備を進めていきたいと思っています。

動物園の“かお”

多摩動物公園
タスマニアデビル



マルジューナ



メイディーナ

5月にオーストラリアから多摩動物公園にやって来たタスマニアデビルの姉妹です。2頭は、腰の白い模様の大きさで見分けられます。(メイディーナは、腰の白い模様がマルジューナより大きく、さらに胸の白い模様が左足の脇まで入っています。)

東京の無電柱化

整備前



電線がいっぱいで
ゴチャゴチャした印象...

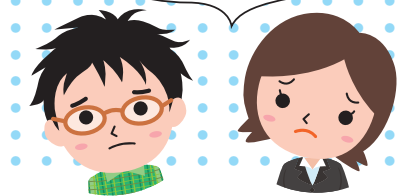
川崎街道(日野市高幡)

整備後



空が広く見える!

街がきれいになった!



東京では、戦後、都市の発展に伴い、多くの電柱が建てられてきました。その結果、都内の道路では約754,000本(※)の電柱が立ち並び、電線が張り巡らされています。このため、電柱は景観を損ねるだけでなく、歩行者や車いすやベビーカーの通行の妨げになっています。また、首都直下地震などの災害発生時には電柱が倒れ、道路が塞がってしまうなど、非常に大きな被害も予想されます。

このような状況から、「都市防災機能の強化」「安全で快適な歩行空間の確保」「良好な都市景観の創出」を目的として、電線を地中に埋め、電柱を撤去する**無電柱化**を積極的に進めています。

※・・・平成25年度末時点

問い合わせ先 道路管理部安全施設課 TEL:03-5320-5305

建設局クイズ 東京の地盤沈下について

問題

戦後から昭和40年台中盤までに発生した地盤沈下は大きな社会問題となりましたが、この間に生じた地盤沈下のうち都内で最大となる規模はどのくらいだったでしょう?

- ① もとの地盤から約0.5mの沈下
- ② もとの地盤から約2.5mの沈下
- ③ もとの地盤から約4.5mの沈下



正解

A

正解は③
地盤沈下は、戦後の高度経済成長時代に工場やビルで使用する水を地下から大量にくみ上げたことで、地盤の中の水が減り地盤自体が収縮することで発生しました。昭和40年台後半には、地下水の利用に関する法律や条例が定められ利用が制限されました。この結果、それまでの急激な地盤沈下は収まりました。その一方で一度沈下した地盤はもとの高さには戻らないため、東京都では、都内の広域で地下水位の状況を調査しています。

約4.5mの地盤沈下が生じた江東区南砂地区

東京都建設局

ツイッター・フェイスブックもご覧ください

- 発行/平成28年10月 ●編集発行者/東京都建設局総務部総務課広報担当 新宿区西新宿2-8-1 TEL(03)5320-5212
- 登録番号(28)47 ●印刷/シンソー印刷(株) ●制作協力/パール商事(株)

ホームページ <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/>
建設局 ツイッター @tocho_kensetsu
フェイスブック <https://www.facebook.com/kensetsu.metro.tokyo.jp>



建設局HP QRコード



フェイスブック QRコード



リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

100% 古紙配合率100%の再生紙を使用しています